

リウマチ専門医カリキュラム

1) 専門知識

1. 基礎知識

●目標レベル

- A 内容を詳細に理解している B 概略を理解している

2. 臨床的知識

●目標レベル

- A 内容を詳細に理解している B 概略を理解している

2) 専門技能

1. リウマチ性疾患の診察

●目標レベル

- A 一人で所見がとれる B 指導を受けて所見がとれる

2. リウマチ性疾患の検査

●目標レベル

- A 検査の目的・適応を理解し、自分で実施し、結果を判断し、診療・治療に役立てることができる
B 検査の目的・適応を理解し、オーダーし、結果を判断し、診療・治療に役立てることができる
C 検査の意義、適応に関して概略を理解し、説明できる

3. リウマチ性疾患の診断と治療方法

●目標レベル

- A 原則として経験すること(担当医として受け持つ)
B 指導医のもとに経験すること(共同でもよいから受け持つ)
C 概略の知識を有すること(見学することが望ましい)

4. リウマチ性疾患の治療(手術・処置技術を除く)

●目標レベル

- A 原則として経験すること(担当医として受け持つ)
B 指導医のもとに経験すること(共同でもよいから受け持つ)
C 概略の知識を有すること(見学することが望ましい)

5. 専門医としての手術・処置技術

●目標レベル

- A 自身で術者として施行することができる
B 第1助手として手術を施行することができる
C 既略の知識を有することを求められる処置技術
D 自身では施行しないが、手術を見学し、方法の概略、適応、合併症などを説明できる。

3) 学問的姿勢

●目標レベル

- A 内容を詳細に理解し、実践できる
B 内容を理解し、指導者の下で実践できる
C 概略を理解している

4) 医師としての倫理性、社会性

●目標レベル

- A 内容を詳細に理解し、実践できる
B 内容を理解し、指導者の下で実践できる

1) 専門知識

			目標レベル(内科系)	目標レベル(外科系)
1 基礎知識				
1	リウマチ専門医の役割		A	A
2	リウマチ性疾患の歴史		B	B
3	リウマチ性疾患の分類		A	A
4	リウマチ性疾患の疫学		B	B
5	リウマチ性疾患の社会的および経済的影響		B	B
6	リウマチ性疾患の病因・病態学		B	B
7	運動器の構造と機能		A	A
8	結合組織の生化学		B	B
9	免疫学		A, B	A, B
10	炎症とそのエディエーター		A	A
11	リウマチ性疾患の病理学		B	B
2 臨床的知識				
1	全身症状(発熱、疲労、食欲低下、体重減少等)		A	A
2	関節および関節周囲組織		A	A
3	皮膚		A	A
4	筋		A	A
5	呼吸器		A	A
6	消化器		A	A
7	腎・泌尿器		A	A
8	精神・神経		A	A
9	循環器		A	A
10	眼科領域		A	A
11	耳鼻科領域		A	A

2) 専門技能

専門医としての診療技術

			目標レベル(内科系)	目標レベル(外科系)
1 リウマチ性疾患の診察				
1	全身症状		A	A
2	関節症状		A	A
3	関節外症状		A	A
2 リウマチ性疾患の検査				
1	一般臨床検査		B,C	B,C
2	免疫血清学的検査		B,C	B,C
3	病理組織学的検査		C	C
4	穿刺液検査		A,B	A,B
5	各種画像検査		B,C	B,C
6	関節鏡検査		C	C
7	眼科的検査		C	C
8	生理学的検査		B,C	B,C
9	感染症検査		B	B
10	患者による疾患評価		B	B

3 リウマチ性疾患の診断と治療方針			
1	全身性結合組織病		
	関節リウマチ、若年性特発性関節炎	A	A,B
	上記以外の全身性結合組織病	A,C	C
2	血清反応陰性脊椎関節炎	B,C	A,C
3	変形性関節症、変形性脊椎症	A	A
4	感染に伴う関節炎	A,B,C	A,C
5	代謝性および内分泌疾患に関連する関節炎	A,B,C	A,C
6	腫瘍性疾患	B,C	A,B
7	神経血管障害	B,C	A,B
8	関節外疾患	A,B,C	A,B
9	骨軟骨疾患	A,B,C	A,B,C
10	その他のリウマチ性疾患および関連疾患	A,B,C	B,C
4 リウマチ性疾患の治療(手術・処置技術を除く)			
1	非ステロイド性抗炎症薬	A	A
2	ステロイド	A	A
3	疾患修飾性抗リウマチ薬・免疫抑制薬(MTX)	A	A
	疾患修飾性抗リウマチ薬・免疫抑制薬(MTX以外)	A	A
4	生物学的製剤	A	A
5	肺高血圧症治療薬	C	C
6	高尿酸血症・痛風治療薬	A	A
7	骨粗鬆症治療薬	A	B
8	免疫グロブリン静注療法	C	C
9	乾燥性角結膜炎治療薬	B	B
10	唾液分泌促進薬	B	B
11	リウマチ性疾患治療薬のリスクマネージメント	A	A
12	リハビリテーション	B	B
13	生活指導、在宅ケア	B	B
14	血液浄化療法	C	C

専門医としての手術・処置技術

		目標レベル(内科系)	目標レベル(外科系)
1 リウマチ性疾患の外科的治療			
1	特徴、手術適応(手術の時期)	D	B
	術前・術後管理	D	B
	目標、評価法	D	B
	手術の種類	D	B
	手術の合併症	D	B
2	上肢の手術	D	B
	下肢の手術	D	B
	脊椎の手術	D	B
	多関節の手術	D	B
3	関節内注入治療	C	A

3) 学問的姿勢

		目標レベル(内科系)	目標レベル(外科系)
1	リウマチ性疾患に関する学術発表、論文発表などを定期的に行う	B	B
2	院内・院外の症例検討会への参加	B	B
3	日本リウマチ学会および基本学会への参加	A	A
4	日本リウマチ学会が主催する教育研修会への参加	A	A
5	Evidence-based medicine (EBM)	A	A
6	指導者として求められる活動	A	A

4) 医師としての倫理性、社会性

		目標レベル(内科系)	目標レベル(外科系)
1	患者とのコミュニケーション能力	A	A
2	患者中心の医療の実践	A	A
3	患者から学ぶ姿勢	A	A
4	自己省察の姿勢	B	B
5	医の倫理への配慮	A	A
6	医療安全への配慮	A	A
7	公益に資する医師としての責務に対する自律性(プロフェッショナリズム)	B	B
8	地域医療保健活動への参画	B	B
9	他職種を含めた医療関係者とのコミュニケーション能力	A	A
10	後輩医師への指導	B	B